

令和4年度仙台管内社会教育拠点施設訪問 名取市 閑上公民館 「閑上大作戦+(プラス)～地域力向上講座～」

閑上公民館では、昨年度「地域力向上講座 閑上大作戦」を開講。「20年後の閑上をもっとおもしろくする!」をテーマに、地域の課題や資源に目を向けて、受講者それぞれがやりたい企画を考案しました。講座後、誰かの「やりたい」を応援するゆるやかな団体「チーム閑上大作戦」が立ち上がり、7歳～80代までの多世代のチームとして、多様な企画を実現。地域課題の解決に向け、活動を行ってきました。

今年度は、昨年度の「チーム閑上大作戦」を深化・発展させ「閑上大作戦+(プラス)」として、「閑上をもっとおもしろくしたり、好きになったりするための企画の実践を通して、やりたいことを実現するための方法や、地域課題の解決に向けて受講者自らができることを考えていく」ことを目的として実施しています。

受講者は、小学生から80代の14名で構成されており、講師はNPO法人まなびのたねネットワーク代表理事伊勢みゆきさんが担当しています。視察当日は全5回の内の、第2回目でした。内容は10月15日に実施されるフィールドワークイベント(ゆりあげディスカバー)について準備を行う回でした。企画のリーダーである受講者が、進捗状況を発表し、協力を呼び掛けるほか、どんな役割が必要なのか、グループで話し合いを行いました。

また、昨年度の企画から、今年度引き続いて実施されているプロジェクトについても、各リーダーから進捗報告がありました。報告を受け、受講者は互いにアドバイスをし合い、更なるブラッシュアップが期待されます。受講者の地域に対する熱い思いを感じ取ることができました。

講座は、講師の伊勢さんがファシリテーターとして話し合いを進めていく形を取っています。地域住民が知恵と力を出し合い、お互いの企画を支え合いながら緩やかに活動し、公民館が支えます。「チーム閑上大作戦」で掲げられている、「一人一人の『やりたい』を互いに応援しあう」姿を随所に見ることができました。



参加者でアイスブレイクを行います。



「閑上食堂」の実施報告



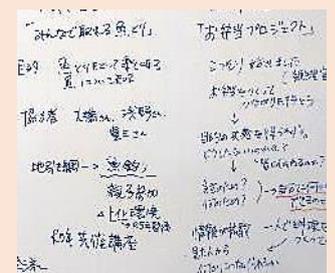
小学生が企画した「ゴミゼロプロジェクト」



「ゆりあげホットステーション」の実施報告



「お弁当プロジェクト」の実施報告



ホワイトボードに進捗状況を講師が書き込みます。



「ゆりあげディスカバー」実施に向けた話し合い



役割分担を考えて、付箋紙に書き出します。